令和８年度第１回　日本大学医学部付属板橋病院　医療安全監査委員会要旨

１　日　　時　　令和８年９月２４日（木）　午後２時 ～ ５時 10 分

２　場　　所　　日本大学医学部附属板橋病院　会議室１

３　委　　員　　寺崎　仁（委員長）
吉田　修，石原　美和，佐伯　晴子，國本　聡（委員）

４　病院出席者　吉野　篤緒（病院長）
田村　剛史（事務長）
中村　裕子（看護部長）
鈴木　孝浩（副病院長・医療安全管理委員会委員長）
中山　智祥（病院長補佐・感染防止対策委員会委員長）
福島　　栄（薬剤部技術長・医薬品安全管理責任者）
岡本　一彦（臨床工学技士室技術長補佐･医療機器安全管理責任者）
瀬在　明（医療の質・評価改善委員会委員長）
北村　麻美子（副看護部長）
君島　正一（中央放射線部技術長補佐）
五十嵐　崇浩，西尾　治美，早坂　正敏，浅海　宏，竹下　健太郎
（いずれも医療安全管理室専従職員）
稲山　隆太郎（庶務課長）
増田　健一（庶務課課長補佐）
永田　晶子（庶務課）
吉田　隆行（本部病院経営指導管理オフィス特任事務長）

５　委員が確認した内容

①　医療安全に関する病院全体の状況

(1) 医療安全に関する基本的な方針について
(2) 医療の質と効率に関する指標の定期的モニタリングについて
(3) 消化器外科領域における術後感染の発生状況について
(4) 臨床検査部のその後の取り組みについて

②　部門を超えて活動する各種委員会の活動について

(1) 医療安全管理委員会，セーフティマネジャー，各種ＷＧ
(2) 感染防止対策委員会とその下部組織
(3) 薬剤管理委員会
(4) 医療機器・放射線機器管理委員会

③　看護部門について

(1) 組織体制と運営状況，重点的に取り組んでいる事項
(2) 看護技術，医療安全，チーム医療等に関する教育研修を含めた取り組み状況
(3) 資格保有者数および認定看護管理者教育課程のレベル別の修了者数

(4)タスクシェアやタスクシフトに関する最近の取り組み状況
(5)DiNQL 事業への参加状況
(6)患者の権利擁護に関する取り組み状況

④　各部門に関する監査
・医療安全管理部門
(1)医療安全に関する主なマニュアルや手順書などの改訂部分について
(2)「レベル３ｂ」以上のインシデント・アクシデントレポートとレベル０の報告を推進するための取り組みについて
(3)医療事故調査制度の対象となった直近の事例の概要と院内事故調査の進捗状況，医療事故情報収集等事業への報告件数等について
(4)ハイリスク症例検討会の開催状況と検討内容に関する記載について
・感染対策部門
(1)感染対策に関連するマニュアルなどの改訂部分について
(2)JANIS と JHAIS のサーベイランス結果からの当院の課題について
(3)手指衛生を徹底させるための取り組みについて
(4)家族の面会制限や来院者のマスク着用の現状ルールと今後の方向性について
・薬剤部門
(1)新規採用の申請があった薬剤の採用の可否等について
(2)疑義照会の院内と院外の状況について
(3)疑義照会への対応状況について
(4)トレーシングレポートの件数，報告内容の分類結果，活用状況について
(5)入院前の患者説明等の取り組み状況について
(6)ポリファーマシー対応の新たな取り組みについて
・医療機器管理部門
(1)医療機器の操作手順などに関するルール等の改訂部分について
(2)医療機器の研修実施状況等，医療機器の新規導入時の研修について
(3)臨床工学技士が業務を行っている部署について
(4)放射線機器の安全管理について
(5)診療放射線技師が参加するカンファレンス等について
(6)診療放射線技師としてスタット画像に遭遇した際の対応について

６　監査結果・委員からの講評
①　「患者・家族を安全な医療を共につくるパートナーと位置付ける」ことの指標化を，患者満足度調査項目の工夫等を行い，検討していく必要がある。
②　身体的拘束最小化に向けた具体的な対策の構築と，身体拘束実施率の推移の評価を継続していく必要がある。
③　インシデント報告は，医療者として身につけるべき義務であり，医師，研修医によるレベル０を含むインシデントレポート報告の定着を強い姿勢で図った方がよい。
④　パニック値に対する医師のカルテ記載を定着させてもらいたい。

以　　上